

### 第3回宇都宮市水道事業懇話会 議事録

日 時

平成15年2月28日(金)午後1時30～午後4時30分

会 場

宇都宮市水道局松田新田浄水場

出席者

- ・ 委 員：赤塚朋子，石井晴夫，板倉世典，臼井佳子，大和田初子，木村由美子  
佐藤栄一
- ・ 市 側：水道局長，水道局次長，総務課長，企業出納員，営業課長，配水課長  
給水課長，漏水対策課長，建設課長，松田新田浄水場長，水質試験室長  
事務局職員

傍聴者数

な し

会議経過

#### 1 開 会

#### 2 松田新田浄水場視察

#### 3 懇 話

座 長： 松田新田浄水場の視察を終えたところだが，今回は視察に主眼を置いたため，特に議題は設定していない。自由に意見交換願いたい。

A 委 員： 老朽化した水道管の布設替えの状況はどうか。

事 務 局： 老朽管と言われているものには，鑄鉄管・石綿セメント管・ポリエチレン管がある。石綿セメント管の布設替えについては，平成12年度に概成している。鑄鉄管は，老朽化したインチ管39，340mについて平成12年度から平成26年度の15ヵ年の整備計画により布設替を行い，平成14年末で約19%終了している。ポリエチレン管は，漏水の多い箇所を中心に二層構造のポリエチレン管に切り替えを行なっている。

座 長： 新しい水道管の材質は何か。

事 務 局： 主に，錆防止のコーティングを施したダクタイル鑄鉄管である。

B 委 員： 浄水施設に屋根がないのはなぜか。

また，老朽化した配管に問題があるのだと思うが，学校などで赤錆が出るときがあるが大丈夫なのか。

事 務 局： 屋根については，降雪量の多い地域では作業管理上屋根をかけていると

ころもあるが、屋根の有無によって浄水機能に差異が生じることはない。全国的にもほとんどの施設は屋根が無い。しかしながら、今日では、環境にやさしい施設作りという観点から、浄水施設の広い空間を利用し太陽光発電を行い設備の電力を確保しているところもあるようだ。施設管理や作業効率面からは屋根が無い方が良いが、環境対策や安全対策のためには財政面を考慮しながら今後検討が必要である。

赤錆については、主な成分は鉄であり、成分的には特に問題は無い。しかし、水道法では飲み水に関して無色・透明と規定されているため色が問題になるが、ある程度水を出し錆の色が無くなれば問題はない。

座長： 子供は、赤錆を見た時点で水道水に対し悪い印象を抱いてしまう。学校は、貯水槽の設置者であるから管理責任があると思うが、設置者に対してどのように働きかけていけばよいか。

事務局： 今後、保健所など衛生行政と連携しながら水道局としても積極的に貯水槽の管理に関わっていく。

C 委員： 私は、栃木県の出身ではないが中学生の時に水道水は飲まないほうが良いと教わった。また、貯水槽の清掃を行なったことがある友人の話によると、やはり貯水槽は衛生的とは言えないようだ。法改正を機に徹底して貯水槽の管理を行なって欲しい。

座長： 水道局としては、貯水槽の管理にどのように関与していくのか。

事務局： 貯水槽の設置者に対し広報を通して管理の徹底を促すと伴に、戸別訪問により貯水槽の状態を点検するなど、衛生行政と協力しながら取り組んでいく。

また、現在は3階建までだが、4階建以上の高層建物についても貯水槽を使わずに直接給水できるよう検討を行っている。

座長： ISO9001の認証取得を目指しているようだが、これについてはどのようなになっているか。

事務局： ISO9001について資料に基づき説明。

顧客に提供する製品やサービスの品質を維持し、向上させることを目的として定められた国際規格（国際標準化機構による規格）

国際規格が要求する品質マネジメントシステムを認証取得することで、当市の浄水システム及び水道事業が国際規格に合致していることを実証するもの。

座長： 全国的に見ても先進的な取り組みである。是非目標を達成してほしい。

D 委員： 環境教育の視点からも、水道や水についての啓蒙などに取り組んで欲しい

いと考えているが、現在の状況はどのようになっているか。

事務局： これまでも社会科見学や副読本の配布など、水道や水に関する教育に取り組んできた。15年度からはこの懇話会での提案を取り入れ『お届けセミナー』と称するいわゆる出前講座を設け、学校などに出向いて水道や水に関する啓蒙活動も積極的に行っていく。

E 委員： 施設見学会は、何回くらい行っているか。

事務局： 今年度に関しては、現時点で31回。子供対象の社会科見学が16回、一般対象が13回、親子対象が2回で延べ1,260人(内子供761人)が見学している。

E 委員： 子供を対象にした見学会などは勿論、一步踏み込んで大人への環境教育についても取り組んでほしい。

テロや自然災害などに対する危機管理体制はどうなっているか。

事務局： 各施設単位での体制整備は勿論だが、宇都宮市全体の危機管理計画の中でも他の機関との連携を図りながらの体制を整えている。

F 委員： 急速ろ過と緩速ろ過の違いは何か。

事務局： 大きな違いはろ過速度にある。急速ろ過は、1日最大150メートルの速度で機械などを利用してろ過するもの。緩速ろ過は、1日5メートル程度の速度で生物膜によってろ過する。急速ろ過は、少ない面積で短時間で効率よく浄水できる。一方、緩速ろ過は、生物による自然ろ過を基本としているため味が良いとされているが、広大な敷地を必要とし急速ろ過に比べどうしても処理量が劣る。こうした理由から全国的にも急速ろ過が主流となっている。

・ 補足説明：水質試験の採水地点について

前回提示した採水地点について、資料(地図)により説明。

以上